

第19回メリダ日本文化週間の開催及び駐ベネズエラ岡田大使のメリダ訪問

11月5日から9日にかけて、メリダ州ロス・アンデス大学にて、第19回メリダ日本文化週間が開催されました。ロス・アンデス大学及び在ベネズエラ日本国大使館ほか多数の期間の共催により開催されたメリダ日本文化週間に際し、岡田大使は5日から7日にかけて、メリダを訪問しました。

ロス・アンデス大学には、ベネズエラ国内で現在唯一となるアジアに関する研究を行っているアジア・アフリカ研究センターがあり、同大学との間では、主にメリダ日本文化週間の開催をはじめとして、長年に渡り文化交流活動で協力をしてきました。

5日、メリダを訪れた岡田大使は、ロス・アンデス大学において開催されたメリダ日本文化週間の開会式典に際し、ロス・アンデス大学マリオ・ボヌッチ学長をはじめとした関係者の挨拶に続いて挨拶を行い、第19回メリダ日本文化週間の開催をお祝いしました。

また、6日には同大学内にて、「持続可能な開発目標：アジェンダ2030」に関する大使講演会が開催され、大学生及び同大学教授などを中心に約300名が集まりました。講演会では、大学生コーラスグループによる両国国歌の合唱や日・ベネズエラ外交関係樹立80周年及び日系人移民90周年に関するビデオクリップの上映なども行われました。

そのほか、大使のメリダ訪問中には、ロス・アンデス大学アジア・アフリカ研究センターの教授やアジア経済を専門とする教授陣との会合に加え、州知事及び州政府との会合も開かれ、メリダ州との一層の関係の強化につながる訪問となりました。



大使講演会の様子



大使講演会に集まった大学関係者及び大学生